滿州日報

油豆行情(中曆正月十九日)
集市元豆 六吊百至六吊二百
紅糧價 五吊四百文至五吊
集三共上車三十餘輛
邊地共來七十餘輛
元…… 吊九百至六吊八百

仝…… 仝 九斗入	同十一圓	
傘…… 仝	同五圓	
全…… 仝 大樽	同四圓	
赤…… 味 四斗入	同九圓三十錢	
札幌麥酒 仝	同九圓八十錢	
蜂印香竄葡萄酒 仝	同二十二圓五十錢	
鯛…… 仝	同十……	
仝蒲燒 仝	同二十三圓	
筍 二打半	同八圓五十錢	
梨 四打	同十一圓	
桃 仝	同九圓五十錢	
人形ミルク 仝	同十二圓五十錢	
一中等塊炭 仝	仝	十五圓五十錢
一仝 切込 仝	仝	十四圓五十錢
澤鶴 正味四斗四升入		十七圓
サッポロビール		九圓七十錢

(宅合名會社調査)

告示

關東總督府 陸軍大將男爵 大島義昌

出示曉諭事照得橫濱正金銀行向於上海天津牛莊等埠專爲利便交易起見發行銀元鈔票所有納欵諸凡交易均用該票無異銀元通用極便商賈爲之暢通實於商務有益已爲人所共知也及至滿洲前爲兵燹之區我日本軍隊使用軍票是以該銀行暫行緩發者也日俄和平滿洲一帶全歸安靖商務亦將見其膺日之興旺我軍隊隨即逐漸撤退所發軍票亦應收回於是橫濱正金銀行茲奉我日本政府允准一面再行發票一面預銀備換以便商務而資滿洲貿易之發達爲此示仰各色旗民紳商等一体知悉爾等嗣後即將該銀行所發鈔票視同軍票均須通用勿得懷存猜疑可也倘有奸詭之徒謠言惑衆礙難通用以博漁利者一經查出立即從嚴懲辦決不寬貸各宜遵照無違特示

明治三十九年一月

告示

橫濱正金銀行ハ從來上海天津牛莊等ニ於テ諸般取引ノ便利ノ爲メ銀ト引換ヘキ一覽拂手形ヲ發行シ來リシカ右ハ各種ノ公納其他一般商業上銀貨同樣ニ使用セラレ流通圓滑ニシテ金融ノ疏通ニ資スル處多大ナリシハ業ニ已ニ普ネク知ル所ナリ曩キニ滿洲ノ地戰爭ノ區トナリシニ際シ日本軍隊ハ主トシテ軍用手票ヲ使用セシヲ以テ橫濱正金銀行牛莊支店ニテハ一時一覽拂手形ノ發行ヲ見合ハセシモ今ヤ平和回復シ滿洲ハ茲ニ全ク安靖ニ歸シ商務モ亦正ニ舊日ノ旺盛ヲ見ントス而シテ漸次軍隊ノ裁撤セラルヽコトニ從ヒ軍用手票モ亦之ト伴フテ交換回收セラルヘキヲ以テ橫濱正金銀行牛莊支店ハ再ヒ一覽拂手形ヲ發行シ舊ノ如ク商務ノ便ニ供シ益々滿洲貿易ノ發達ニ資スル所アラントス右一覽拂手形ハ日本政府ノ認許ヲ得テ發行シ銀貨ヲ準備シ隨時交換ノ用ニスルモノナルヲ以テ汝等人民ハ之ヲ信用シ軍用手票ト同一ニ公私一般ノ取引ニ受授通用シテ毫モ疑アルヘカラス若シ夫レ奸譎ノ徒妄ニ浮說ヲ流布シ流通ヲ妨害シ以テ利ヲ博セントスルモノアラハ立トコロニ嚴罰ニ處シテ決シテ假借セサルヘシ各遵奉シテ違フ勿レ特ニ示ス

明治三十九年一月 關東總督男爵 大島義昌

○報價目
每月收取八角代賣所及送…人并無分毫加增
○告白刊
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減
每張四百文

三井洋行

●精製白砂糖新入荷物あり

啓者本行開創在中外通商各埠已有年所所售棉紗棉布火柴煤炭糖海產等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷着

倉庫部

今回倉庫所在地(西堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候(電話百二十八番)

宅合名會社

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤鶴印并一切雜貨其名與已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街開設支店一所發賣綿紗綿布火柴絲布綢衣機布手巾北京洋貨絲錦表貨物俱全而價值格外從廉日貴客惠顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辰臨爲幸

總司理人 田中賴之助謹白

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵雜貨並經理買賣租船裝運事宜營口東西處自建碼頭貯油餅豆米麥房地方寶大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便倘有欲租船運貨官衆諸位有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷

總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之

正理事 潘玉田 副理事 金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞

本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幫火輪船生意衆賣各幇洋什貨糧石等此佈

營口西大廟街路北警乙第十三號

恒有長

本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價值格外從廉克己并另設銀爐包營鎔鑄以應急需久爲 中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

元[illegible]盛

油坊買賣元荳荳油荳餅雜色粮石以及代客購辦雜貨布疋一概發行裝運沙斉鴆船交易南北客商歷有年矣爲此謹白

開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

代代米烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯邁)櫻花牌(撥利)百合花牌(利利)均巳馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸尊欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 百八番 事務室 十番 支配人室

横濱正金銀行牛莊支店

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭及撫順炭

以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也

松茂洋行商業部 河岸通(電話五十二番)

滿洲日報各地賣捌所
滿洲日報廣告取次所

大連市穗岐町三百三十八號 日華運輸公司
大連市磐城町四十九番地 岡野新聞舖
奉天大南門內景祐宮胡同 全泰號
遼陽 遼陽倶樂部 谷口今朝太郎

森病院

一診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
一往診 午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄(取扱主任應援大道しげ子)

院主 森[illegible]
醫長 鈴木昌平

營口永世街 (電話一五五番)

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價值格外從廉克己、凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、

大阪府堺市熊野町 藤原謹啓

田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面閱是幸

田中牛莊分莊謹啓

材木販賣 荒物

秋田洋行

本店 下關 秋田寅之輔商店

營口永世街第一八四號平野町

●辭東申榮行

小林門平

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧之需 本局主人啓

米國製

白麵發賣

大連市羽前町千八番 英組大連支店

飯塚工程局材料部

營口元神廟前 (電話百三十五番)

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

Rates for Advertisement 20 cts. per line. Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.
Telephone No. 29.

告料 一ヶ月以上…錢十五仙乃至十… 一ヶ月以內… 一長期連揭減價面議

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

新年河

御製

あら玉の年立かへる河波に
しめ飾せし船も見にけり

皇后宮御歌

靜かなる世の年波は神風の
五十鈴川より立返るらむ

東宮御歌

平かに年波かへる五十鈴川
神の惠の深さをそ汲む

倫敦電報

●英國の調査委員任命

英國政府はトランスバール問題調査委員として殖民卿エルジン伯玉璽尚書リポン侯大藏尚書アスキス氏陸軍卿ホルデーン氏殖民次官チヨルチル氏の五名を任命せり

●新造戰艦進水式

皇帝エドワード陛下は軍艦ドレツドノートの進水式を行ひ結へり聞く所に依れば同艦は日露戰爭に於て日本海軍の得たる實戰上の經驗を基礎として總ての改良を施したるものなりと云ふ

●進水式後の賞賜

進水式の後ちエドワード陛下は射的演習監督官海軍少將スコツト氏を騎士(ナイトフード)に列しビクトリアン、オルダー勳章を賜はりたり是れ近來砲術上に一大進歩を加へたるを賞されたるものなりと云ふ同時に海軍大將バリー氏も騎士に列せられたり

●愛蘭土黨の決議

ダブリン市に於ける愛蘭土党は英國の政党若くは内閣にして愛蘭土の自治を重もなる問題として其政見中に加へざれば協贊を與へざることに決議せり

（以上二月十二日發電）

雜報

●大觀兵式參列隊

凱旋陸軍大觀兵式に參加すべき諸隊の略内定せしものは大山滿洲軍總司令官以下同幕僚第一乃至第四軍並に鴨綠江軍司令部同幕僚を始め近衛、第一兩師團全部全國各軍旗を捧持せる諸隊より出せる若干名づゝの代表者(軍旗捧持)等にして擧行期日は來る四月卅日塲所は青山練兵塲なりと云ふ

●外國商品と滿洲

在上海佛國領事は去る三日佛國外務卿よりの通牒に基き同地佛國商人に對し左の通知をなせり從來外國商品は一切新民屯を經由し滿洲に輸入することを禁止され居たるも我駐日公使より再三日本政府に交涉の結果終に佛國貯藏商品は爾後鐵道により自由に滿洲に輸入するを得ることゝなれり尤もその證明は日露兩軍委員によりて約定されたる條件に從ふを要す云々

●總督府の移轉期

關東總督府は目下遼陽に在るも早晩旅順へ移轉することと爲るべき趣きにて其移轉期に就ては或は日露平和條約によりて滿洲に駐兵し得べき期間なりといひ或は三月中に移轉を了へ四月よりは旅順にて事務を執るに至るべしといひ未だ何れを確說なりとも信ずべからざれども我滿洲軍引揚結了次第移轉するとは略は確定せる內議の由にて撤兵も意外に捗取りたれば四月末五月始めには愈々移轉の運びに至るべしといふ

●英皇族御着濱期

今回本邦に御來朝の英國皇弟アーサーコンノート殿下には本月九日香港を御出發十日軍艦ダイヤデム號に御移乘十九日横濱御着の筈なりといふ

●烏港司令官傷狀

烏港要塞司令官負傷の模樣を聞くに去月二十四日一群の暴徒要塞司令部を襲ふや同司令官は要塞砲臺正面に立ちて指揮中砲彈飛び來りて右の肩より頸筋を又一彈は脇腹を傷けしも尚奮戰中部下に助けられて入院し爾來容體緊く爲に長崎へ轉地し來れるものにて容體依然重しといふ

●貴族院の色別

本期議會に於ける貴族院各派の態度は左の如くなるべし

▲憲政本黨に近きもの　土曜會(四十七名)
▲政友會に近きもの　茶話會(四十六名)
▲中立　研究會(八十名)木曜會(四十九名)無所屬(四十四名)

●目賀田顧問辭職

韓國財政顧問目賀田種太郎氏は一進會に對する處置地方稅務に對する計畫並に各海關に對する政策に就て伊藤統監と相容れざる所ありて此程辭表を提出せりと

●青木大使と米紙

近刊米國新聞は青木氏の同國大使に新任せられたるに關して曰く極東第一の駐米日本大使に青木子爵なる事發表せられたり戰勝國の大使として選ばれて我が國に來るは以て其卓拔なる政治家にして高平公使の比にあらざるを知るべし子爵は嘗て外務大臣として二回の經驗あり閱歷と才幹とに於ても秀でたる外交家にして獨逸婦人を娶り模範的獨逸大學教授の風ありと稱せられたり云々

●リネウヰツチ將軍近狀

烏港よりの通信に依ればリネウヰツチ將軍は哈爾賓に在り軍隊の輸送を監視し居れり駐屯兵を除き自國の兵員を本國に送付し了るは本年末なるべきも同將軍は三月頃歸國して陸軍大臣たるべく其副官數名は保養の爲め近々日本へ來遊の筈なりといふ

●全國軍資金獻納高

開戰以來去る三十八年十二月迄の全國軍資金獻納高は總計二百三十五萬三千百四十六圓五十七錢にして又全國に於ける去る十二月中の獻納高は一萬六千七百六十二圓三十錢八厘然るに昨今軍資獻納金を取消す者多々あり東京府百三十五圓五十錢山梨縣七圓五十錢德島縣四圓なりと云ふ

●鐵道五千哩紀念會

全國官線及び私設鐵道四十餘會社の營業哩數は三十九年度に於て總計五千哩に達するを以て帝國鐵道協會は來五月中旬名古屋に於て定期總會を兼ね五千哩紀念祝賀會を開く事に決したりといふ

●沿海州漁業組合法

沿海州漁業權問題の交涉了りて本邦人に漁業を許可する事となれば民間當業者該地に移住する者少からざるべきを以て當局者は此等帝國臣民を保護する爲め該地に漁業組合法を實施する方針なりと

●赤十字社と滿洲

滿洲に於ける赤十字事業の發達を圖るため赤十字社は過般關東州民政長官石塚英藏氏に委員總長を囑托せしが今回更に本社より職員を派遣し委員總長の下に專屬し社務の進捗を圖る由

●富豪の義損

東北凶作救濟會へ向け本月三日岩崎家より二萬五千圓、三井家より二萬五千圓、安田家より一萬五千圓を寄附したり

●第五師團の死傷數

廣島なる軍人遺族慰藉會の席上に於て木越第五師團長の發表したる處によれば戰役中第五師團の死傷總計は一萬二千三百五十七人內戰死三千百九十二人又管下後備部隊の死傷千百十四人なりと

●伊公使昇任說

伊太利國政府は愈々本邦公使館を大使館に陞格する事と爲りたるが多分現公使ヴヰンチー伯大使に昇任すべしと云ふ

●溝口少佐の處分

今回歸還すべき本邦俘虜中海軍に屬するものは彼の金州丸にて敵艦に赴きたる少佐溝口武五郎氏以下數名にして受領の爲め船越人事局員神戶に出張中なるが聞く處に依れば溝口少佐は着京の上直に查問委員の審査に附せられ其結果或は軍法會議に回附さるゝに至らんかと云ふ

●蒙古女生徒の來朝

河原操子女史は蒙古喀喇沁王の重臣の女子三名を伴ひ此程長崎へ到着せるが何れも日本風の服裝をなし居れる由にて五年間本邦に留學すべしといふ

●戰捷紀念博覽會豫算可決

大坂市の主催にて來三月中旬より戰捷紀念博覽會を開かんとし市理事者より曩にその豫算十萬餘圓を市會に提出したるが愈々此程の市會にて可決確定したるに就ては餘日もなきに付理事者は早速その準備に取かゝる筈にて小川商工課長は不日上京し土木課にては會塲の道普請建物修繕等に今日以後忙殺せらるべき模樣なりと

●統監府服制と馬車

韓國統監府の服制は臺灣總督府と同樣のもとなし近く發布の筈なり因に伊藤統監が着任後使用すべき馬車は旅順開城の當時第三軍が戰利品として收容したるものにして五六日前既に韓國へ輸送したりと

●伊藤侯の對韓方針

伊藤統監は去月三十一日東京府下の各新聞社通信社長を官邸に招き韓國に對する方針につき大要左の如く演說したり

▲抑日韓兩國の關係は昨年十一月十七日の日韓協約によりその基礎を定められたりと雖も該協約たるや頗る簡單にして僅に其根本を規定したるに止り十分に其精神を貫徹せんとするには尚ほ之が運用の妙に待たざるべからず

▲例へば從來韓國地方官と外國領事との間に交涉したる事務の如き日韓協約締結の結果我理事官に於て之を處辨する事となりたりと雖も我理事官と韓國地方官との關係に就ては尚詳細の手續を定むるの必要あり即ち外國領事より交涉し來れる事務に關し韓國地方官の履行すべき事務の如き我理事官の移牒に應じ直に韓國地方官に於て之を履行すべき事と定むるを要すべく而して若し又當該地方官にしてその義務を履行せず或はその履行を怠るが如き塲合には韓國皇帝に奏上し又は韓國政府に交涉して直に之が履行を命令せしむるを要すべく是等の事項中には一面に於て帝國政府より外國政府に對し豫め交涉を遂げ置くの必要あるものあり同時に一面に於ては韓國政府と委細の手續を定むるの必要あるものあり前者の如き本官赴任前に於て成るべく之を取纏むることを期すと雖も後者に至りては本官京城に着したる後韓國政府と熟議を遂げ之を定めん事を期すべし

▲韓國施政の改善は日韓議定書により帝國政府の負擔する處の義務なり然るに韓國政治の腐敗はその來る所遠く一朝之を改善せんとは容易の事にあらず尤も法令を改め單に表面の改革を履行するは何等の困難を見ることなしと雖も斯の如きは決して施政改善の目的を達する所以にあらざるべしと信ず是を以て韓國施政の改善に關しては尚十分の考慮を遂け漸を以て之を實行し韓國官民をして共に其惠に賴らしめん事を希望す

▲韓國人民の窮乏は既に沿く人の知る處なり然れども之を今日の儘に抛棄し更に之を救濟するの道を講せさるは啻に帝國か韓國保護の責任に負けるのみならず帝國自ら又その弊を受けさるへからさるに立至るへし帝國は既に韓國の國防を擔任して以來多くの軍隊を韓國に駐屯せしむる義務を負へり更に此費用のみを算するに少額といふへからす之に加ふるに今後益々增加すへき韓國の諸費用を負擔し之を我か國民に賦課するか如きは決して長計にあらす從て韓國人民をして漸次その資本力を增進せしめ韓國諸般の經費は成るへく韓國人民をして自ら其費用を負擔せしむるの道を開くを必要とすへし而して韓國人民の資力の增進を圖るに當りて第一に注意すべきは農業の改良なりとす然れとも土木の如き林業の如き農業の改良と相俟て改良施設を要するもの亦尠からず此等諸般の經營に就て充分なる調査を遂け順次之を實行せんことを期す

▲我國人口の增加は非常の高率を示せりこの增加せる人口が韓國に向て膨脹すへきは自然の數なり殊に今後韓國に於ける各種事業の發達する非常の增加を見るへきは明瞭なる次第なり然るに從來韓國に於ける我國民の舉動は大にこれを非議すへきものありその韓國に赴くもの今日に比して至らは我國民の韓國人民に對するや凌辱を極め韓國人民をして遂に淚を呑んでこれに屈從せしむるに至る斯の如き舉動あるもの固より在韓同胞の一小部分に過ぎずと雖も帝國に於て既に韓國の保護を擔任したる今日に於ては斯の如き舉動は我國民の態度として最も愼むを要することとなるへく殊に日韓今日の關係は明治初年以來兩國間幾多の困難を排し二回の大戰を賭して初てこれを現出するに至りたるものなり然るに我國人民の韓國人民に對する舉動その宜きを失するかため韓國人民をして外は從を裝ひ內は我を怨恨するの情に堪へさらしめその結果遂に日韓今日の關係に累を及ぼすが如きことあらば寔に遺憾とすへき所なり今後我國人民の韓國に赴くものその數を增加するにより斯の如き弊は勉めてこれを鎮壓せさるへからすと信す本官赴任の上は韓國に於て正當の職業に從事する我國人民を保護すへきは言を俟たすと雖も斯の如き不良の輩は十分之を取締らんことを期す

▲以上述へたる所は本官希望の大要に過ぎざるを以てこれを實行するに當つては自から順序方法ありと雖も大体に於て如上の方針によるへきことを期待す諸君の中には韓國事情に精通せらるゝ方もあるへきにより右の希望に對し何等意見を有せらるゝに於ては忌憚なくこれを開陳せられたし本官は喜んでこれを拜聽すへく尚前述の方針を改むるの必要あれはこれをなすに吝ならさるへし云々

●昌圖近況

最近歸客の談に依れば目下昌圖に在る邦人は總体に於て五百名以上也但し大部分は視察者にして主に鐵嶺より往復する者とす而して今日の所旅館三四軒あり相當に繁昌せり▲物資は一体に多し決して不足の方にあらず然かも商況の中々に活潑なるは露國商人の物資買入に南下する者往々にして之れあるが爲也▲聞くが如くば露國商人の好んで買入るゝ品はビール、米利堅粉、砂糖、ウイスキー等にしてビールの如きは目下品拂底にて一箱實に二十圓以上にて賣買せられつゝありと云ふ▲尚目下昌圖に入込みつゝある商人は主に酒保を爲し居りたる者及通譯等の解雇せられたる者等の如し云々

●淸酒の近況

近來遼陽奉天鐵嶺等以北の需用口位に過ぎず昨今の商況は頗る不振なりと云ふ尚は現在營口の淸酒は總体に於て約八千樽あり就中主なるは鳳凰正宗の三千樽、澤龜の一千樽、金鶴の一千樽、金水の七百樽等なり一時は市內に澤山の腐敗酒ありて純良の淸酒に多大の妨害を與へたるは世間に隱れなき事實なり其後以北に輸出せられたる者頗る多く今日は甚だ減少せりと稱へらるゝも尚は總体に於ては七八百樽之れありと也即ち此の腐敗酒を加へて算すれば營口現在の淸酒は約九千樽もある道理也因に近頃は滿倉の買入れも殆んどあらずと云ふ

●鐵路輸送營業希望者

近頃に及び更に輸送營業の許可を得んと運動せる者も之ある模樣なるも關東總督府の意向は今日に於ては最早許可せざる事に決定しあり從ふて願書を提出するも營口軍政署に於ても取りつがずとなり

●外人の喜捨

本社が嚮に東北饑饉地方窮民の慘狀を思ひ義捐金募集の社告を爲すや同胞諸君の同情に厚き未だ漸く一週日內外に過ぎざるに義資を投寄せらるゝ者已に數百金の多きに及べるは深く本社の感謝に堪へたる所なるが殊に一昨日の英文欄にも義捐金募集の旨を記載するや當地在住佛國宣教師ニウーブリエ氏は昨日直に人をして銀百圓を本社に屆けしめられたるは最も其厚意を多とせずばあらず聞く淸人側に於ても夫々寄附の計畫ある趣にて現に營口印字局の職工ボーイ苦力迄各々若干金を醵出して喜捨せるは實に特志の至りとす

投書かご

▲近頃軍政署附近の某雜貨店と司法部附近の某料理店に盛なる一六勝負をして居るが其筋は燈臺下暗らしで御存知ありませんか隨分大きな取引が出來ますぞ現に僕の知人は千圓餘も彼等組合連中のインチキに罹つて困まつて居る（探知生）▲某西洋通の紳士は英語で頻りに寢言を云ふて居たが近頃は淸語で寢言を云ふて居る語學の奧義を極めて居る人は又格別ですな（某書生）▲此間戲實會で第三金城日本の各料理店の競爭演舞があつたが我れ劣らじと夫れ〳〵腕を奮つて演じたが日本館が一頭角を顯したとの滿塲來客の大評判(町雀)▲某料理店の嬶は入入が餘程上手で近頃は每日の如く或る賭博塲に通ふて居るそうだ今に素破拔いて與れるぞ(穴知生)

●塵積んで山金

既記の如く平の町元祿家山金にては日々老夫婦等が自己の義捐を仰ぐが如く來客をして十錢二十錢と投函させたる結果は塵積んで山金となる主旨か最早武力鐘に入るゝの餘地なく過る紀元の佳節を卜し來客十有餘名の立會を求め開函したるに銀十圓〇五錢と金一圓都合十一圓五錢を得たればとて本社に其寄贈方を依賴せり實に特志の夫婦と云ふへし

●本屋の頓死近所の特志

利害相關せざれば骨肉も路人の如くなる輕薄の世の中に奇特の一佳話として市中に傳へらるゝは過つる去年の何時頃よりなりしか地は營口永世街第二更科に並べる數棟の急造日本建長屋の中央に山上文英堂とて新刊書籍雜誌文具類を商へる一店舖あり主人金子庄之助といふは元山口縣大津町仙崎村の產にて家族とては無く一人の支那ボーイを使ひて此寒そらのいと寒むきに豆火鉢の細き炭火を掻き寄せて店頭に居坐はり每日入り代り入り來る顧客に應對して家業專一に勉勵し商內も相應にありしが去る九日晚には店も例の如く仕舞ひて隣家なる增田洋行を訪ね四方山の話盡しに漏の移つるを覺えず談益々佳境に入らんとして遂に氣付たるものゝ如く時間を問ひて既に十一時を過ぐと聞き驚き辭して我家に歸り其日の計算など終へ一時頃寢に就きしが翌朝ボーイは何時もの如く店をも開き食事をも用意したるに尚起き出でざれども昨夜の夜ふかしゆゑと思ひて別段に氣も留めさりしが店頭へは早や來客あり書物の直段など尋ねるを以て奧に入りて主人庄之助を喚べども〳〵起き出でず餘りの不審に堪へず手づから身體を搖り起せば既に氷の如く冷え切りて息氣の根も通はさるにぞ大に驚き遽に狼狽へ出せば近所にてもそれと聞付け馳せ集まりたれとも死者は復た生くべからず殊に增田洋行主人は唯だ夢の如き感に打たれしは無理ならずと謂ふべし其死狀の如何樣異しむべきより嫌疑は一時ボーイに罹りて種々訊問したるも唯だ庄之助が歸りて其日の計算を爲し已れ十二時頃寢に就きたりとの外別に怪しむべき形迹も無く殊に庄之助は就寢の儘眠むるが如くに死し居れば多分急性腦溢血に罹りたるにやあらんとの其筋の檢案なりとぞ斯く庄之助は獨身の世帶なれば取敢へず領事館の增田巡查之が財產を保管し一面文英堂の奉天支店に勤務せる某に打電して急速歸營を促し一面增田洋行主人及び更科の妻女等近所の有志相集まり僧侶を請じて嚴肅に通夜を行ひ或は炊出を爲し通夜を行ふ等骨肉も及ばざる親切の數〳〵を盡し一昨十二日は又野邊の送り迄濟せて葬儀萬端頗る丁重に行はれ昨日は又有志相集り納骨式を行ひたりとぞ人情紙の如き世に美談の多きは最も喜ぶべし

●退去命令

原籍長野縣高井郡日瀧村六四番地現時第一營口ホテル止宿元當地宅合名會社支店雇人松澤秀雄は當營口より遼陽へ商品輸送に關し不正なる行爲ありたる由にて關東總督府より三ヶ年淸國退去を命ぜられたりと云ふ

大連 ……

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至奉山	上一二、一八	下六、二〇

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間　下り列車

驛名	發着	時刻
大連	發午前	九、〇〇

上り列車

驛名	發着	時刻		
遼陽	着午後	三、五〇	發	四、五五
大石橋	着	一〇、三二	發	一一、三五
金州	着翌前	二、二〇	發	三、一〇
大連	着	[illegible]		

營口線　下り列車

驛名	發着	時刻
旅順	發午後	一二、〇三
大連	着	五、三二
大石橋	發午前	[illegible]、〇〇

天氣

營口地方　自昨日午後六時至本日午後六時

社告

東北凶作地窮民救恤義捐金募集

東北三縣の凶作は國家近來の大慘事たり之を天保年間の大饑饉に比するも優るも譲らず各官廳及び地方有志は夙夜救濟の道を講ずと雖も窮狀日に益〻甚しく遂に地方自治機關の之が爲めに停止し國民敎育の之が爲めに沮滯せるのみならず幾十萬の窮民坐して死を竢つ能はず山に木皮を拾ひ野に草根を掘り僅に露命を繋ぐに至る而も今や時冬天に會し饑寒交々至りて復た食と衣とを得るの道無く父母妻子東西に流離して乞丐と變じ餓莩路に横はるの慘劇將に臻らんとす是に於てか我內地に於ては東北三縣の舊藩主貴衆兩院議員等胥謀り東北三縣救恤會なるものを起し以て是等窮民振恤の方法を講じ在京各新聞通信社亦其擧を贊して均しく義捐金募集に着手せり我社固と涓埃の力敢て當るに足らずと雖も其慘狀を聞くや旣に久しく同情の念鬱々巳む能はず遂に聲援を我同業者に致し以て幾多窮民が焦眉の急を救はんことを期す江湖の君子庶くば本社の微意を諒とし應分の義資を投ぜられんことを其規定左の如し

一、義捐金額は一人拾錢以上とす
一、受付期限は二月二十八日迄とす
一、義捐金は直に本社に送附せられたし
一、本社が受付たる義捐金は毎日正金銀行に保管預入を爲すべし
一、期限後は之を一纏めとし東北三縣救恤會に送附し其配分方を託すべし
一、義捐者人名は本紙廣告欄に掲載し受領證に代ふ

明治三十九年二月七日

滿洲日報社

雜報

戰後に於ける國民の心得

去年二月宣戰の際「戰時に於ける國民の心得」を編して世に布きたる帝國敎育會は、此程また「戰後に於ける國民の心得」と題する小冊子を公にせり、先づ日露戰爭の經過を說述し、わが國民の社會力發展の必要を槪說し、戰後の日本地圖を挿入して最後に心得方十一項を擧げたり、起草者は三宅(米吉)博士なるだけ行文なだらかに、正しく國民の一般に服膺すべき切要の事を記すその文次の如し

一、國民は戰地から歸つて來る陸海軍人を歡迎して其の功勞を感謝し、尙いつまでも其の人々を尊ひ敬はねばならぬ、又戰で傷を負て癈兵となつた人や、戰死した人の家族には、深く同情を寄せて其心を慰め、十分に深切を盡くし、其生活に差支へぬ樣に助けねばならぬ。

一、凱旋した軍人は、其の續いて軍職にあるものも分けて鄕里に歸るものも、自分の功に誇らず、よく禮儀を守り質素を旨とし、其の職務家業を怠らずして、いつまでも其の名譽を保ち尊敬を失はぬ樣にせねばならぬ。

一、戰の間に我が國民は皆よく義勇の精神を發揮して、軍人は生命を惜ます戰場に闘ひ、國に留まるものは各自の及ぶだけ勢力と財産とを費やして後援をなしたが、我が國民は今後尙益〻此の精神を修養ひて、いつ何時でも國家の爲には有らん限りの力を盡くす覺悟をして居らねばならぬ。

一、强健な身體は何事を爲るにも大切であるから運動を十分にして體力を養ひ、衞生に心がけて健康を全うすることが肝要である、外國人に比べて體力が劣つて居ては迚ても競爭はできぬ。

一、戰の間は人々節儉して着物や食物に奢侈をせず、徒の費を省いて預金などをしたが、戰が濟でも尙此心懸けを持續けて、奢侈を戒め節儉を守らねばならぬ、特に今度の戰には莫大の費用がかゝつて、多額の公債を募つたから、國民の負擔が餘程重くなつた、戰が濟だとて氣を弛さず、戰の時の通り心得皆よく忍耐しよく働かねばならぬ。

一、戰の間は人々一致して種々の共同事業に力を盡くしたが、共同一致の美風は戰の後でも永く失はぬ樣にせねばならぬ。殊に今後は一個人や一地方の利害ばかり考へて全國の利害を忘れることの無い樣に、眼の着け所を廣くして、狹い量見の起らぬ樣にせねばならぬ。

一、戰の間は所々の村や町や又家々でも經濟の事などに種々良い計畫（例へば市町村基本財産の蓄積、紀念林、助耕などの計畫）を立て、行り初めたが是等の良い事は戰が濟でも止めずに續けて行らねばならぬ。又昔から習慣となつて居つた惡い風俗で戰の爲に一旦廢めたものもあるが是等の惡い風俗は戰が濟でも舊へ復さず、永く廢めねばならぬ。

一、仕事を爲るに多勢でする時は勿論、一人でする時でもよく規律を守ることが肝要である、規律をよく守れば仕事がよくできる、戰に出た人々は皆規律の肝要なことを知つたであらう　人々日々の仕事にも必す規律を守る習慣をつけねばならぬ。

一、今後我が國民は最も力を農工商の實業に盡くして、種々の産物を成るべく好く、成るべく多く作つて、外國貿易を盛にせねばならぬ、又淸國、韓國其他外國へ出かけて實業を營む心懸けも肝要である、外國貿易を盛にし又外國へ出かけるには其國々の地理風俗より實業の狀況までよく心得なければならぬ。

一、今後外國人とは一層親しく交はり、又よく禮儀を守りて、賤しみ侮られぬ樣にせねばならぬ、特に外國人と取引をするには最も用信を重して堅く約束を守り、少しでも虛僞の事をしてはならぬ、英國は我が同盟國であれば、英國人との親しみは自ら深いわけである、露國人とは旣に和睦した上は、今まで敵であつたことを憶はず打解けて親しくするがよろしい、又淸國人韓國人にも不遜な擧動をしてはならぬ。

一、今後我が國民の責任は益〻重くなるから、兒童の敎育には擧國一致してよく意を用ひ、少くとも小學敎育は一人殘らず受けさせ、尙其上は種々の學校や其他の手段でやきるだけ多くの人才を養成つて、各〻其責任を盡くさせ、我が國將來の大發展を期せねばならぬ。

玉島少女

其三　壽山

長女が生れてからは、夫も餘り詩や小說の物語りを爲ぬやうになりました。と言つて、新らしい書は絕えず繙いて居りますのですけれども何ふも親になつては、そんな暢氣なことばかりも言つて居られまいと申して、滅多に以前のやうな、物語りはして呉れません。たまに、夜なども無理に頼んで致して戴いても、途中で、長女が眼を覺ましたり、何か致すので、何ふも氣乘りが致しませんのでした。

悲しいのは人の世で御座います。

三年目の二月の末でした、夫は少し公用が出來て京都から、奈良、大阪、神戶、それから山陽線の方へ、向ひました。その道筋に、音に名高い須磨、舞子、明石等なとは列車の窓がめなにとも申されん美くしいところでしたそうです。そのうちに姫路へ着しましたけれども、目的の方へ急ぐ爲め下車致しませんと、のり續けに、光石の、トンネルを拔けて暫くすると、ヘヤ岡山驛に、着しましたから、いよ〱下車致しまして、或る旅館へ登り、列車中の、苦を慰さめまして丁度七八年前一度見物しましたことのある有名な後樂園へと指して遊びましたところです、彼れ是れするうちに、日沒とは、なりましたから、元の旅館へと戾りまして、其夜は、ゆかしい、嬉しい、樂しい、夢を見ましたとのこと。翌朝は、不思議、にも、早く、目を覺ましますると、ゆきなりちやんと、洋服を着けまして、一番下り列車とかけつけました。見れば、丁度、六時二十分の間に合まして、乘るや、否や、思はず、口のうちで、二言、三言、玉しま〱と、獨り言を、なに、譯はない、つい〱と、申して、何方かと申せば樂しみに致して居りました。夫は旅が好きで、殊に、美しい山川の光景は此の塵の世の此上ない慰藉だと申して、暇さへあると、よく二泊三泊位の處に出掛けまして、讀つて來れば、いろ〱異つた風俗や、美しい山水や、感じた興などを詳しく語つて呉れるのが習慣でした。私はまだ東京生れの、知つて居りますのは鎌倉か江の島位、ホーテームーンに箱根に參つたのは、一番遠い旅行でした。ですから、其旅行の物語を言ひ知らず私の好奇心を惹きますので、見ぬ山、見ぬ川、見ぬ風俗が何んなに私をして空想に耽らしめたでせう。よく、自らの行きもせぬ處を夢に見たり何か致しまして、夫に笑はれたのも度々です。

三日目に京都から一通七日目に大阪から一通、最後に參りましたのは岡山からで、其手紙は一番長く、一人旅の淋しさや東京の戀しさが書いてありまして、今日、後樂園附近を散步中計らず、雨が縞を織るやうに降つて、來て車の幌を外しながら見て廻つたことが細々と記してありました。最も興を感じたのは、岡山城でした、風情ある松林の間を拔けますると、公園續きの垣に梅が白く咲いて居りまして、千年の前の昔しもかくやとばかり。城壁の依然として立つて居るさまは、實に何とも言はれぬとのことでした。それから、鶴鳴館へと赴きましてまで〱して、居りますと、ふと、向ふから年若い美僧が鼠色の被風を着て、大黑傘を片手に抱いて參りました。立留つて聞きますと、其聲は純然たる妙齡の處女、さつと顏を赤くしましたので、若い尼であるのがすぐ解つたそうですが、其見寄の光景、池邊の鶴、淋しい松原こぼるゝはかりに降る雨、其れに伴つて妙齡の美しい尼、夫は非常に感に撲たれましたとかで、其若い尼の生立から行末まで色々空想に耽つたと書いてありました。で、陳列館へと、蝙蝠傘をかざして、一人立つた時には、もう餘程大降になつて來て、舊都の半は黑い雨雲に蔽ひつゝまれて居たとの事でした。

そして最後に、明日は是非、玉島へ行く積りである。花見にはまだ早いそうであるが、折角來たのだから一寸行く…………とから書いてありました。

廣告

東北凶作地窮民義捐者芳名

一銀五圓　營口印字局
一仝五十錢　同
一仝二十錢　同
一仝二十錢　同
一仝五十錢　同
一仝二十錢　同
一仝二十錢　同
一仝五十錢　同　南永世街
一仝五十錢　同
一仝二十錢　同
一仝五十錢　同
一仝五十錢　同
一仝三圓　同　金波樓
一仝五十錢　同
一仝五十錢　仝
一仝一圓　同
一仝一圓　同
一仝一圓　同
一仝一圓　同
一仝一圓　同
一仝一圓　同
一仝五十圓　同　金升洋行
一仝一圓　堀越憲兵長馬卒
一仝一圓　第八師團
一仝二十圓　營口
一仝十圓五錢　同
一金一圓　同
一銀百圓　營口佛國人宣敎師
一仝十圓　牛莊警港長
一仝二十圓　米國人
一仝二十圓　英國技師
一仝二十圓　英國領事
一仝五十圓　英國宣敎師
計三百〇四圓〇五錢
通計九百七十一圓四十五錢

野田秀吉　劉樹芳　安錦榮　欒王璽　孫廣德　李化有　頴永甲　中村卯吉　中村しげ　大野榮　井上榮藏　井上ゑい　恒村いと　恒村ふき　松尾辰次　立神すゑ　吉田ふね　菅野みき　鳴瀬すゑ　前田しのぶ　南谷はゆ　九鬼榮助　家族一同　齋藤伴一　一韓卒　飯塚松太郎　平野町山　金義捐箱　同　コウブリエ氏　ベンソン民　無名氏　ダン氏　フルフヲルド氏　カアツン氏

募集公告

當局電話交換手募集す志願の者は(日本人にして年齡十六歲より二十五歲まで視聽力完全身体健康なるもの)自筆履歷書携帶當局へ出願す可し

營口軍政署電話局

右今般新荷着仕候間可成至急御申込願上候

消火器

英治洋行　營口北大街

讓り渡し

弊樓現在の家屋疊建具付の儘讓渡し度候に付御望みの御方は至急御來談被成下度候

二月四日　平野町　春帆樓

西海洋服店

歐米各國最新流行形

永世街一四一(森病院三軒目)　(電話百十七號)

SK

軍票騰貴致候に付弊行正札價格より五步引を以て御用達可申候

銘酒菊正宗新着!!

尙最上日本白及マッチ新荷着仕候

雜貨商　加藤洋行(營口電話八十番)

本店　天津日租界　大阪
支店　營口　北京
出張所　遼陽

SK

廣告

明治參拾八年十一月廿九日夜警の件に付き協議を要すへき事あるを以て日淸兩國人よりの委員全部と淸國營口公議會員二名とを第一派遣所內に招き協議せしめたり

最も夜警を設置したるは明治參拾八年十一月下旬にして日淸兩國人の委員として夫れ〱軍政署より指名せられ其委員に於て總て其事務を擔任し來りたるも日淸兩國委員間に於て是迄意思の疏通せざる爲めと側ら協議を要すべき點とにて本日特に全部召集會見協議せしめたるものなり當日日本人側より谷口今朝太郎、村山彌吉、永島貫一の三氏出席他の三名委員は旅行中又は用務の爲め欠席せられ淸國人よりは全部出席せられたり協議したる件は左に

一是迄の夜警は人員不足にして未だ充分に第一派遣所管內を巡視する不能依て一月一日より更に八名を增加せしめ(當時十二名)一層當派遣所管內の各衛を嚴密に巡視せしむると

一八人の增加と共に其費用も倍〻增加するか故是迄日本人側より其全部費用の三分の一を負擔することゝなりをりしも(約一ヶ月百五十圓の見込なりし)一月以降は日本人側より每月百五十圓を支出し他は淸國人より支出負擔すると

但し二十人の夜巡夫は一ヶ月一人十五圓づゝにして二十人にて三百圓當地家賃油炭其他雜費等約五十圓其他柏子木角燈修理代等にて合計三百五十圓

一總て夜警に要する物品は公議會より支辨すると

一日本人側より支出する金額は其月廿五日迄に取纒め第一派遣所憲兵の手を經て公議會に交付すると

一夜巡夫の監督は軍政署に於て監督せらる夜巡夫に於て巡視中火災盜賊其他安寧を害する事あるを發見し特に功勞あるものは日本人側より賞與すると

右の通り第一派遣所受持憲兵井元勇馬氏立會の上決議仕候條此段及報告候也

十一月十二日決算報告

一銀二百七十五圓五十錢也　徵收高
內譯
一銀七十五圓二十錢也　十一月分夜警巡夫費
一銀百五十圓也　十二月分夜警巡夫費
一銀四十六圓三十錢也　帳簿幷に廣告料及び事務員給料其外雜費
差引殘金十八圓也
右之通報告に及び候也

營口第一派遣所管內　夜警委員

Yano & Co.

矢野洋行

Telephone No. 137 電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

石材、碎石

並に自家製造 瓦、煉瓦 廉價販賣

營口元神廟街四十號第二號

順吉洋行

満洲大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店ヘ御來店アリタシ

遼陽停車場前 池上出張店

奉天 池上出張店

風藥

登録商標

止咳祛痰散

哮喘氣急、多痰咯血、咳嗽痰稠、各種喉症、胃痛胸痛、甚至牀臥不安、飲食不進、或諸醫束手百藥罔效服用此散不論初起遠年立刻見效眞水火既濟之良方也

◎たんせき一切 ◎肺病の特藥 ◎ひきかせ

醫藥醫料器械 賣藥寫眞藥

大販賣東瀛大藥房 營口永世街(西順泰東首)

澤亀は醇良にして風味高尚なり

並に 札幌ビール 朝日ビール 政府專賣口付紙卷莨 朝日 大和 酢 醤油 瓶詰樽詰 菓子色々 鑵詰 洋酒類 取次販賣

釀造發賣元

大阪府堺市九間町 本店
北海道小樽湊町 小樽支店
臺灣臺北街書院 臺北支店
臺灣基隆街石牌 基隆支店
臺灣臺南街下南河 臺南支店
北海道函館區辨天町 函館出張店
清國遼陽城内西街 遼陽出張店
清國大連監部 大連出張店
清國牛莊港東營口 營口支店

宅合名會社

東營口郵便局東隣 島田洋服店

新民屯停車場前 同支店

會席料理 三日月

營口警務課前南に入る

奉天日本旅館 瀋陽館

家屋宏壯清潔 接待優遇懇切

開放全時ニ開業 奉天小西門外大街路北

SPECIAL LIGHT

(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を醸造せり

スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり

スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元 大阪朝日麥酒株式會社

營口發賣 關東公司雜貨部

發賣 標子 木板 料木

營口青堆子

清水寶本局

一 關内外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱

一 海關手續

一 鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱

一 船舶荷物取扱

一 其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號

大清通運公司 營口支店

營口中央市場前 萬事勉強乘車乘船好位置

旅館 東京樓

店主 熊田兼次郎 (電話百七十八番)

即席和洋料理 東京樓支店 (電話四十四番)

西洋料理仕出し御需に應ず

景品御料理御披露

私儀去月中原料並に道具仕込みの爲め歸朝致し居ましたが此程種々の珍品を仕込みて立歸りましたを幸ひ平常の御引立に酬ひ度と思ひますので此際更に大勉強をしまして從來の御料理を吟味します外新に左記の價額にて釜飯湯豆腐の二品を加へ籤引景品を差上ます

新御料理

加藥飯 御壹人前 銀五拾錢

親子飯 仝 仝上

湯豆腐 一銅壺 銀貳拾五錢

但釜飯は加藥親子何れでも御二人前以下は御調進出來ませぬ 景品は御酒肴代(銀貳圓)に對し一枚の割にて景品劵にて差上げ置き今回の總劵數二千枚を出し盡しました時に有志の御方々の御立會ひを乞ひまして籤引致し景品劵を引換へに差記の景品を進せます何卒陸續御入來之程を偏に希ひます

景品目録

第壹等	銘酒澤亀		七樽
第貳等	仝		三樽
第參等	五匁附純金指環		壹個
第四等	二本	銀側懷中時計 (代價二拾圓)	壹個宛
第五等	三本	旅行用皮製カバン (仝拾五圓)	壹個宛
第六等	四本	旅行用化粧道具 (仝拾圓)	壹個宛
第七等	五本	膝掛け (仝八圓)	壹枚宛
第八等	六本	絹紬 (仝六圓)	壹反宛
第九等	七本	メリヤスシャツ (仝五圓)上下	壹組宛
第十等	八本	卷烟草入 (仝貳圓)	壹個宛

明治三十九年二月十日より

元神廟街 翁亭 長谷川金次郎

大日本帝國醫科大學模範藥局御用

攝津灘石崎合資會社釀造

醇良清酒 澤之鶴

滿洲特約大販賣

周 裕和盛號支店

清國營口西北街 電話八十一番

裕和盛販賣品目

○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種

和盛本支店所在地

○支店韓國京城、仁川、木浦、
○支店清國、芝罘、旅順、鐵嶺、
○本日本長崎梅香崎

裕和盛は清商中日本通の張本

澤之鶴は既に評定ある天美錄

時刻

	山海關至北京	天津至北京	塘沽至北京	[illegible]至天津
上	八、〇〇	一二、〇〇	六、〇一	六、[illegible]
下	六、四五	五、二〇	一二、〇六	一一、一八

	溝邦子至新民屯	山海關至營口	唐山至山海關	天津至山海關
上	三、〇〇	七、〇〇	六、〇〇	六、二五
下	六、五七	四、五五	一一、五八	六、二一

天津上り列車 若午後 一二、〇六 六、二三 發 七、二〇
天津 午前 一一、〇〇

驛名	發着時刻
大連 發午前	七、三〇
旅順 着	一〇、四九
營口 發午後	一〇、二五
大石橋 着翌前	一二、二〇

豫報

昨日の氣溫
昨日の氣溫 最高溫度廿四度四 最低溫度零下六度九
昨年との比 高三度七 高十九度六

宮門抄

十七日
慶王全綿各假滿請　安　亨公由　西陵回京請　安　王翽祥續假十日
召見軍機　練兵處王誠義遞封奏各一件
皇太后　皇上本日己刻升　勤政殿總稅務司赫德法國主教林懋德杜保祿　覲見賀年

上諭恭錄

十七日奉

上諭御前大臣及御前行走侍衛前清門行走侍衛等日傳左右出入扈從宣勞勤苦前著分別賞給津貼以示体恤此項津貼一併由戶部籌撥自此次加恩之後如有嬾惰自安罔知振作者定予懲處其各凛之欽此

上諭軍機處爲用人行政樞紐關係綦重允宜優加体恤以清治源所有該處行走之王大臣及滿漢章京等均著賞給養廉用資津貼經此次優賞之後該王大臣等必能整躬率屬砥厲廉隅內外一切餽贈自應永遠禁絕各避嫌疑倘仍有揣摩嘗試情事著該王大臣即行據實嚴參懲辦如或瞻徇容隱一經發覺與受同罪以端政体而挽頹風此項養廉著戶部按年籌給欽此

上諭禮部右侍郎著胡燏棻調補伍廷芳著調補刑部右侍郎外務部右侍郎着唐紹儀補授欽此

軍機大臣面奉

諭旨着戶部每節交進銀二萬兩備賞內廷當差各項人員欽此

奏議

豫撫陳奏豫省仕途擁擠擬請暫停分發摺

奏爲豫省仕途異常擁擠擬請暫停分發俾得稍就疏通以肅吏治恭摺仰祈

聖鑒事竊查豫省候補人員自光緒廿年前撫臣劉樹棠奏停分發一年嗣又請展一年後迄今時閱九年人數愈集愈多日形壅滯當光緒廿八年前撫臣錫良曾以續停分發爲請適值捐例已停未經議准現在奉天廣西等處開辦實官捐輸每月分發人員絡繹而來幾無虛日統計候補道府同通直隸州積至一百三十餘員州縣積至四百六十餘員佐貳雜職積至一千三百五十餘員人數之多昔所未有河南係屬中省本非地大物博之區近復將各局所大加裁汰益覺事少人浮不獨補署無期即差委亦難徧及坐令投閑置散株守頻年在自好者既苦沈滯無聊而不肖者且將鑽營奔競實與吏治官方所關匪細經臣督同藩臬兩司悉心核議除正途各項例應簽分人員仍照例辦理外擬請將捐納勞績兩項自道府以至未入流暫停分發二年俾各班稍就疏通其先經指分保留豫省尚未分發到省者各願改分他省應請准其免繳離省等項銀兩以示體恤據布政使瑞良按察使鍾培會詳請　奏前來臣覆核無異合無仰懇　天恩俯准敕部照議辦理俾疏壅滯而飭官方理合恭摺具陳伏乞

皇太后　皇上聖鑒訓示謹　奏奉　硃批吏部議奏欽此

東京電報

●駐高麗英國公使館之廢撤　韓國京城之英國公使館刻已廢撤即以署理公使爲總領事仍駐該地云

●俄國不肯撤兵　聞俄國公使以滿洲各地尙未平定爲辭不肯撤兵云（以上西二月十一日發電）

中外要聞

●俄使干預路工　前數日璞科第公使至外部會晤定欲中國將張家口達庫倫之鐵路歸俄國修築否則亦必與蒙古合辦當經外部大臣謂此路尙無修築信息即令興修亦不能攙入外股此係奏明之事貴大臣所言本部礙難應允云云

●擬設仕學速成科　軍機政務大臣大開會議現在各省冗員煩多而辦理交涉及舉行一切新政絕少通才雖經資遣官紳前往日本就學法政速成科惟所費甚鉅人數尙有不敷宜奏請飭令各省督撫即在課吏館內添設仕學速成科自候補道府至佐雜等官均著入館肄業限以六個月畢業面試一次俟各該員能於各國政治法律果有心得畢業時量材擢補實缺庶與外人交涉可先事預籌弭患之法臨時亦有辯難之方云云當時各大臣咸以爲可次日軍機大臣面奏　兩宮奕諭着軍機政務大臣再行斟酌妥議然後發電行知各省

●會議黑龍江添設官缺　聞政府王大臣會議黑龍江將軍程德全業經奏請將齊齊哈爾黑龍江墨爾根布特哈呼蘭等處副都統各缺裁撤雖已議准惟查黑龍江呼倫貝爾墨爾根三城地方遼闊亟宜添設道府廳縣等官專理地面事宜勿庸營員干預刻已電飭該將軍應如何添設民官作速體察情形詳覆核辦

●戶部咨行江督　聞戶部咨行江督公文一件略謂皖省所辦釐卡局捐向有正欵雜欵條目咨飭何等爲正欵何等爲雜欵向未咨部報明仰即飭令全省釐卡分別造具清冊迅速報部以憑核辦可也

雜報

●演說會會議　營口萬國演說會之創立已誌本報頃該會會正副會正議定於本月念二日午後九點鐘約同人在火神廟內會商一切要事云

●北城積貨通運　北來人云客冬新民屯開源鐵嶺等處被賊阻遏車運諸貨堆積如山自萬發街賊黨被軍隊剿擊紛散後車馬通行北運不絕邇來各城堆寄等貨盡爲運去云

●商戰不利　昨聞省垣來人云客秋瀋陽衆糧棧鉅商往赴錦郡批寫糧豆買空賣空直以紙上談兵用決勝負致瀋陽諸商共負東錢五百餘萬緡凡日興隆廣昌號廣興泉祥鉅商等俱屬久遠老舖多有七十餘年者俱爲此傾覆閉業云

白話

直隸學務處白話勸學示（再續）

自然可以替國家出力這纔算是不枉費這一段白話就是演說去年八月初四日　上諭的意思大家想想　皇太后　皇上盼望我們國裡頭人何等的親切我們當用甚麼法子體貼聖意呢所以本處特意的想出幾個方法來教大家看看作個參攷第一辦學堂要有出錢的人以前各種學堂辦的居多須知官辦的學堂不過開通風氣要是合中國二十二省的學堂都官辦起來官是斷沒有這些項錢的惟有指望各地富紳或是獨力捐資或是大家湊辦這學堂纔可以普徧呢若論本地人出錢辦本地的學堂原是本分當辦的事然而國家總不肯掩沒他們一番義舉時時加以獎勵就著直隸說獎勵的法子就很多大概捐助學堂在一萬兩以上的可以奏請從優獎勵一千兩以上的可以奏請獎給官銜或是准他在本地建立牌坊五百兩以上的請督憲賞匾額三百兩以上的道府會同賞匾額二百兩以上的州縣賞匾額以外還有賞給獎札功牌的章程凡捐學堂經費在制錢三百吊以上的給五品獎札二百吊以上的給六品功牌一百以上的給七品功牌五十吊以上的給九品功牌不足五十吊的本地州縣酌量著賞給花紅總而言之捐助學堂多少錢就可以得多少好處直隸地方因爲出錢興學得著獎勵的人位甚多本處一一列在後面大家一看就明白了細想紳士出錢辦學堂全是成全本地的子弟親隣朋友已經是歌功頌德國家又賞給許多的好處眞是一舉數善的事這何樂不爲呢第二辦學堂要有出力的人尋常人的習氣總是以無事爲榮要知不合理的事我們原當躲避至今學堂是奉　天子聖旨開通風氣的事我們躲避作什麼呢況且　朝廷獎勵出力興學的人非常優異直隸官紳因爲興學出力府縣記功紳商得獎的不可勝數這都是爲學堂出力的好處了須知這些好處不止於那些人可以得的你們若是亦肯爲學堂出力能拘不得一樣的好處麼第三有子弟的人家早早把子弟們送入學堂盡點父兄的責任責任的意思前頭已經講過不必再說總而言之我們對着子弟不是養活大了就算盡了責任必須教他受過一番教育纔算是盡責任呢第四入學堂的學生必須自出學費現時各處學堂還多有貼補學生膏火的這實在書院的習氣狠不合學堂辦法要國家倡辦學堂爲的是造就國民不是爲養活寒士大家須認定這個宗旨現今各國學堂都沒有津貼學生的事惟獨師範學堂的學生飲食住宿歸學堂墊辦各國爲什麼獨厚待師範生呢　因爲師範生成了以後　必須爲學堂出力充幾年教習不准改就他事所以待他們特意的厚些以外別種學堂的學生上學的有學費吃飯的有飯費住宿的有宿費學生不止得不著津貼還要津貼學堂呢我們中國風氣初開官立初等小學堂一概不取學費本是個提倡的意思日後學堂多了若是永遠不取學費不止官場沒有這些錢恐怕本地方的錢亦就不　用了現時行唐縣小學堂學生聽見紳士演說這種道理一律辭去津貼改爲自費其餘南樂縣大名縣的學生亦是如此更有天津縣南宮縣小學堂的學生不止不要津貼還出學費大家看看這樣學生有何等自立精神眞是明白公理你想學生上學堂本是爲自己求學問就當自己出學費依賴別人作什麼至於自已不出學費還望別人津貼那更是意外的想頭了以後作學生的總要想地方的錢有限不可因爲我們學生津貼弄得學堂不能推廣各處學生要都變成這種思想不止學堂日見起色學生的品行亦長進多了爲此示仰一體知悉特示

（完）

NEWCHWANG, WEDNESDAY, FEB. 14, 1906.

Mr. and Mrs. Gleason who had been busily engaged at Tai-ren in the Y.M.C.A. work, passed through the port last Sunday for Tientsin on a visit.

Mr. and Mrs. Dunn gave a quiet tiffin last Sunday to Mr. A. G. Cox, Mr. Kurosawa, Dr. Phillips, and Mr. Okabe.

Dr. McDonald Westwater started home for Liaoyang yesterday afternoon. Rev. Mr. A. R. Crawford, formerly of Kirin,

Dr. Young of Mukden who had come down to the port with Dr. Westwater and Mr. Anderson of Tientsin, and Rev. Mr. Stobie of Kaiyuan took the same train for Mukden. We understand that the last named gentleman is to proceed further for the north to Kaiyuan after a day's stay at Mukden.

At 10.30 a.m. next Friday (Feb. 16th), at the house next door east of Messrs. Bush Bros.' stable on the thoroughfare to Niuchiatun, a varied assortment of household furniture, consisting of single and double beds, sideboard, a chiffonier, a sofa, easy chairs, pictures, cooking stoves, cooking utensils, washing sets, a baby's perambulator, cupboards, lamps, chest of drawers, a dinner wagon, an ice box, and a double barreled hammerless gun with a quantity of ammunition to suit it, will be offered for public auction by Mr. Cook. On the following day, Saturday (Feb. 17th), at the same hour and place, the auctioneer will bring under the hammer a large quantity of gentlemen's underwear, comprised of flannel and cotton shirts, cotton jackets, trousers, long boots, and other odds and ends which may come handy for daily use.

Through the courtesy of the Newchwang Branch of the Yokohama Specie Bank, we received last Monday the latest exchange quotations which, space barring, could not be published yesterday. It appears from the new schedule that no changes have come over the Shanghai, London, or American rates. Most striking and almost astonishing is the way silver continues to rise steadily in value. In Japan, a silver yen, either in war notes or in the new Newchwang Branch notes, has quoted 99 sen (gold). How long the rising silver may take before jumping up another sen to be at par with the gold yen, has become a matter of interesting speculation. We find from responsible sources that the phenomenal upward leap made by the war note on the exchange market is in the main to be ascribed to its recent release from bondage under the standard gold yen in the fixed ratio of 90 sen to Y. 1., which in fact represented the actual relative status between the two metals at the time of its issue. While the benefit accruing from general advance of silver had been entirely wasted upon the war note, on the other hand, this 10 per cent disparity had been misinterpreted by the public, to its further disadvantage, in the light of a discount rate it bore to the gold yen. Furthermore, the persistent circulations of all manner of fictitious rumours and misrepresentations upon the war note by agencies other than friendily disposed, have had a great deal to do with the prevalent distrust it had laboured under, but which seems to have quite vanished away like the fast clearing fog.

EXCHANGE QUOTATIONS—(Feb. 12, 1906).

JAPAN	Bank T.T.	99
	,, Dem'd	99¼
	P'ate 15 d/s.	99⅞
SHANGHAI	Bank T.T.	71¼
	,, Dem'd	71½
	P'ate 15 d/s.	72½
TIENTSIN	Bank T.T.	102¼
	,, Dem'd	102
	P'ate 10d/s.	101
LONDON	Bank T.T.	2/- 1/16
	,, De'd	2/- 1/8
	Cr. 4 m/s.	2/- 5/8
AMERICA	Bank T.T.	48¾
	,, Dem'd	49
	Cr. 4 m/s.	50¼

No fluctuations were recorded in the above rates yesterday (Feb. 13th.)

Gen. Nogi, ex-Commander of the 3rd. Army, is held up as the highest type of the old Japanese '*samurai*.' In his remarkable report submitted on his triumphal return, to H. I. M. the Emperor, he has humbly enumerated and owned every strategical error the Army has made during the late campaign, and ascribed everything to the Imperial graces and the scores of thousands of officers and men he has killed, many of whom a little more skill on his part might have spared.

The "M. D. R." Relief Subscriptions, (Feb. 13.

Monsieur H. Caubriere	$100.00
Capt. F. Benson	10.00
One Gentleman	2.00
Mr. E. E. C. Dunn	20.00
Rev. Mr. J. Carson	50.00
Mr. H. E. Fulford	20.00
	202.00

營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號
旅館 第二營口ホテル 河岸通り
料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛
料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎
旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉
料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎
旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程
料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川彌三郎
料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好
旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 麻田久二
旅館 大和館 永世街十一號 店主 前田九一郎
料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一
料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助
御料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松
料理 醉花園 / 旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉
旅館 金城ホテル 永世街百六十六號
料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎
旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎
料理 喜樂亭 營口元神廟街

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

御料理 柳亭 叮嚀専一 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理並ニ溫泉 一力 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 松月亭 本店 營口元神廟街一四三号
和洋料理 御旅館 滿洲ホテル 支店 遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案內

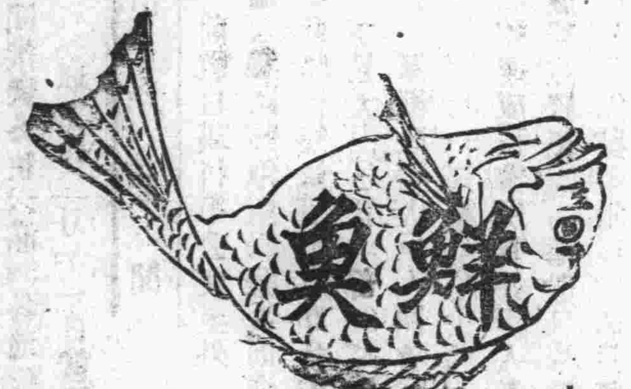
旅館料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉
御料理會席 菊水館 主任 朝枝圓捷
旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉
旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基
御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟
御料理 凱旋亭 色々應御注文 主任 古谷庄太郎
旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉
遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎
會席 玉家 主任 西野治三郎
御料理會席 來々亭 主任 石田清

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口綏定門街東 ブツシ商會
喜川鐵工場

元牛家屯酒保平岡組傭人 堀孝次郎 及本店員 宮原久太郎 は自今當組と何等の關係なし此段廣告仕候
平岡組

特別室落成
營口 金城ホテル 旅館部
藝妓仲居 新來 金城館料理部
奉天小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館
撫順炭大販賣
多少に不拘御用命被仰付度願上候
金城館販賣部

雜貨
醤油 味噌 清酒
營口西北街 阪神組



幣店儀雜貨專業之處今般業務擴張の上日本は勿論滿洲に支店を設け併て鮮魚の御小賣充分勉强の上御用達可申候間倍舊の御用命被仰付度奉願上候 敬具
營口南永世街百廿七號 森屋洋行
大連大山通り二丁目 仝支店
代理店 遼陽西門外 林洋行
代理店 奉天小西門外（電話十六番） 米田洋行

御料理 滿月 平野町一八二（電話一六一）
御料理 滿月支店 平野町（元都樓跡）
今般內地より撰り抜きの別嬪數名呼寄候に付不相變御引立の程希上候
店主 青木勝惠

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

御旅館 天津 芙蓉館（電話[illegible]十一番）
駐屯軍御用 並西洋料理

御旅館 豐陽館 上海（電話一〇六番）
日本郵船會社荷客取扱
歐米滊船乘船取扱
館主 米田藤吉

高等旅館 彌生館
營口永世街
館主 宮下只七郎（電四二）

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町 日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店（電話十九番）
各位樣

旅館 富喜樓
室內は極清潔防寒之設備あり
鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案內者出張致し居候
鐵嶺城東門外南へ一丁余
南大街 樓主敬白

藝妓仲居新來御披露
此度新たに內地より藝妓仲居十數名を連れ參り候間御光來の上御評判の程願上候 草々
營口 高砂ホテル
高砂（電話一四五）

發賣 料木 標子 木板
塩川商會
清國營口二本町二五五號
主任 塩川峰吉（電話一三六番）
遼陽小西門內 塩川商會
外に
電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
● 建築用材北海道產松大角（自廿五尺至三十尺）一万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 一石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○干擴魚 ○石灰
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也
喜久洋行
永世街八十號（電話百五十二番）

大連 東洋ホテル
大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

為替相場（二月十三日）
上海は 百圓に付六十七両二錢五分
天津向 百圓に付一百〇八五圓五十錢

日本品最近物價表 加藤洋行調査
樽物類
菊正宗 三斗九升入 銀二〇圓
櫻正宗 四斗四升入 同十七圓
鮨 ラツキヨ 四打入 同十三圓
辛子漬 五打 同十四圓五十錢
四打 同九圓五十錢
鷲ミルク 仝 同十八圓
石炭（飯塚工程局） 一上等塊炭 一噸ニ付 銀十八圓

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 銀四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙